

北朝鮮の非核化に関する安保理閣僚級会合
河野外務大臣ステートメント(仮訳)
(2018年9月27日)

ありがとうございます, 議長

まず, ポンペオ米国国務長官に対し, 北朝鮮問題に関する不断の努力に心からの謝意を表明します。貴長官は, この喫緊の課題に対処するため我々の一致した決意を再確認するこの会合を開催したのみならず, 我々共通の利益である北朝鮮の完全な非核化の達成に向け, 我々のために私心なく献身されてきました。また, 私の韓国におけるカウンターパートである康(カン)韓国外交部長の指導力と大変な努力に敬意を表します。

日本は, 北朝鮮をめぐる諸懸案の包括的な解決に向けた前向きな一歩として, 6月にシンガポールで行われた歴史的な米朝首脳会談及び本年の3度の南北首脳会談を含む, 現在進行中の外交努力を歓迎し, 支持します。

これらの努力が, 関連安保理決議の下で我々が共有する共通目標である, 北朝鮮による全ての大量破壊兵器及びあらゆる射程の弾道ミサイルの完全な, 検証可能な, かつ, 不可逆的な廃棄(CVID)につながることを強く期待します。日本は, この目標を実現するために, 努力を惜しみません。

しかしながら, 国際原子力機構(IAEA)の最新の報告書が, 北朝鮮が核計画を継続していることに対する「深刻な懸念」を表明していることを強く認識しています。

我々が追求しているのは, 北朝鮮がこの前例のない機会を捉え, CVIDに向けた決定的かつ不可逆的な措置を講じることです。

国際社会は丸となって進行中の外交努力を支援し, また, 国際的な義務及びコミットメントを果たすために戦略的な決断をするよう北朝鮮に促すべきです。その際, この安保理が全会一致で採択した決議の完全な履行を確保するよう, 我々は引き続き一体となることが非常に重要です。私は, 現在の外交プロセスを後押しする以上に良い方法はないと確信しています。

我々はいくつかの, 重大な事案にも留意しなければなりません。日本政府は, 2018年の石油精製品の年間上限に違反しているとの米国政府及びその他パートナー国の認識を共有します。全ての加盟国が, 安保理決議に基づき, 直ちに北朝鮮に対する石油精製品の供給を止めることが重要です。また, いわゆる「瀬取り」や漁業権の販売等, 安保理決議に基づく措置を回避又は迂回するためのますます巧妙になった行為が継続的に報告されています。この理事会による決定の権威そのものが問われています。制裁を回避する活動を止めることは我々の責務です。

最後に、しかし重要な点として、日本と北朝鮮との間には直ちに解決しなければならない諸懸案があります。日本は、諸懸案の即時解決に向けて北朝鮮と直接向き合い、あらゆる手段を講じる決意です。

北朝鮮は、正しい道を歩めば、大きな潜在力に恵まれ、明るい未来を形作れる立場にあります。北朝鮮は豊富な資源と勤勉な労働力に恵まれています。今が重要な時であり、私は、北朝鮮に対し、このまたとない機会を掴むよう強く求めます。これを実現できるのは、北朝鮮のみなのです。

現在の国際的な不拡散体制を守りつつ、北東アジア内外の恒久的な平和と安定を実現するために、北朝鮮による全ての大量破壊兵器及びあらゆる射程の弾道ミサイルの完全な、検証可能な、かつ、不可逆的な方法での廃棄を実現することが不可欠です。そのために、関連安保理決議を完全に履行するとの明確で揺るぎのないコミットメントを新たにすべく団結しましょう。

ありがとうございました。